4．いい思い出について

ここでは、一般的な習い事、学習系習い事、体験学習のうちで、大学生になった今ふりかえってみて、いい思い出と思うものについて聞いた結果をまとめた。

◆男子のいい思い出は運動に関するもので、女子は音楽に関するもの（図4－14、15）

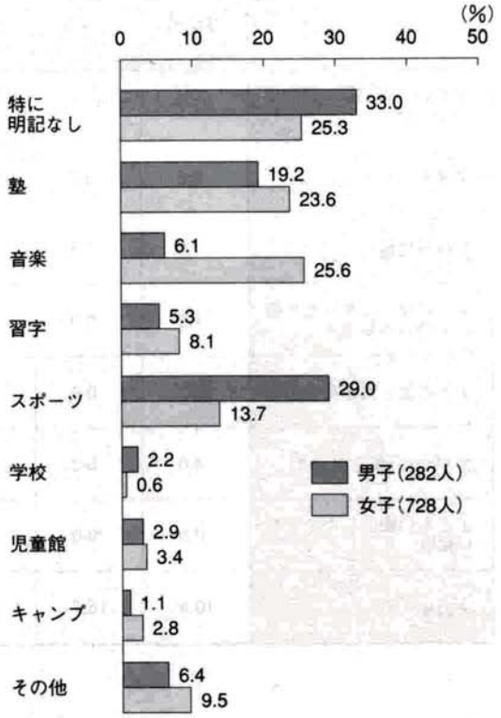
一般的な習い事、学習系習い事、体験学習に関するいい思い出を自由記述で書き込んでもらい、まず習い事名で分けた（複数回答、Q14のみ分類方法は異なっている）。いい思い出の割合の高い順に見てみると、「塾」22.3％が最も高く、「音楽」20.1％、「スポーツ」17.9％、「その他」8.6％、「習字」7.3％、「児童館」3.3％、「キャンプ」2.4％、「学校」1.1％の順であった。

しかし、名称を特に明記していないもの（どのような経験をしたかのみが書かれているもの）が最も多く、27.4％を占めていた。

男女差が大きいのは、スポーツと音楽で、スポーツでは、男子29.0％、女子13.7％で、男子の方が15.3ポイント高く、反対に音楽では、男子6.1％、女子25.6％で、女子の方が19.5ポイント高い。これは、「最も有意義」の傾向と同様である。

図4－14　いい思い出（複数回答）

図4－15　いい思い出（性別）（複数回答）



◆「友だちに関すること」がいい思い出（図4－16、17）

では、どのような経験をするといい思い出につながるのか、具体的な経験の内容について調べ、自由記述を7分野に分けた。

回答者が具体例として多く挙げた順にみると、「友だちに関すること」28.9％が最も高く、次いで「賞・級や資格をとったこと」22.0％、「発表会への参加・練習」15.0％、「何かができるようになったこと」14.4％、「イベントへの参加」12.4％、「先生との交流」11.5％、「学校で役立ったこと」8.9％だった。今回の調査対象者は、小・中学校時代の成績上位者が比較的多いため、成功体験が多く出ていることも考えられる。

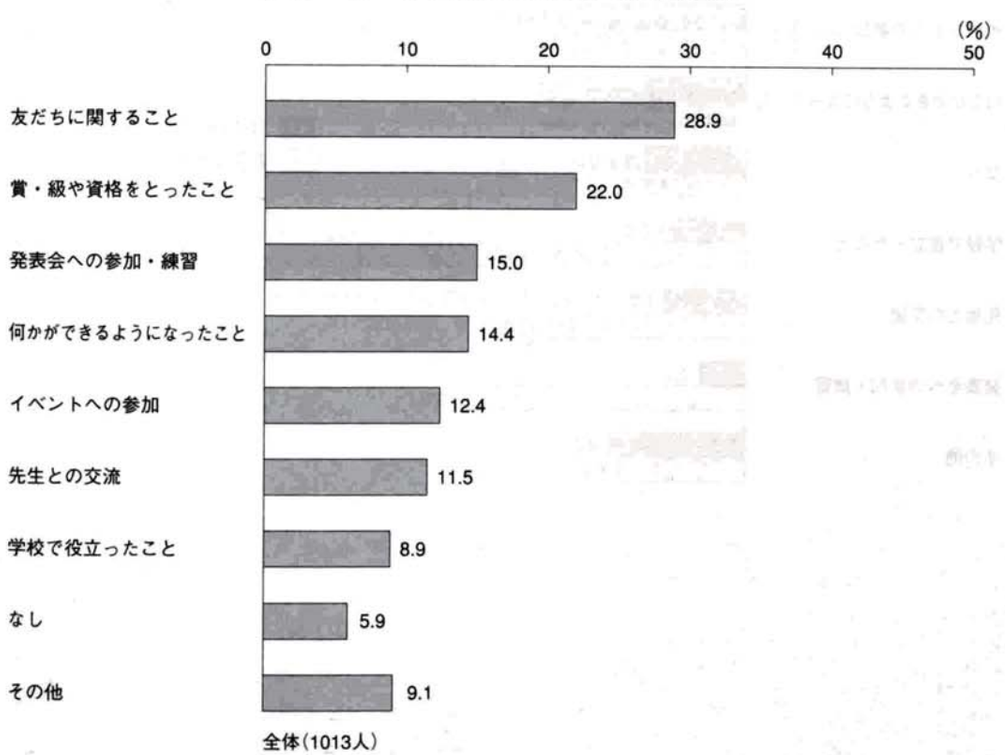
男女別で10ポイント以上の差があるものは、「発表会への参加・練習」のみで、男子3.2％、女子19.6％で、差が16.4ポイントだった。その他の項目では、特に目立った差は見られなかった。

以下に、「いい思い出」として挙がった声で主なものを紹介する。

★「友だちに関すること」
- 友人が増えた
- 塾の後で一緒に遊びに行った
- 友だちと教え合い、理解した
- 友人のあたたかい雰囲気が好きだった
- 他校の友だちができた

★「賞・級や資格をとったこと」
- 習字で級が上がった（スイミングスクールでも同様の声が多くあった）
- 書初めで金賞をとった（ピアノもあり）
- 剣道で決勝戦までいき、練習に励んだ
- 野球の試合で自分のヒットで点が入った
- 賞を受けると、自己肯定感が出てきて自信がついた

図4－16　いい思い出の内容（複数回答）



★「発表会への参加・練習」
- ピアノやエレクトーンの発表会での達成感、満足感
- 発表会の準備を自発的に行った
- 表現する機会をもてた
- 発表会に向けて一生懸命練習した
- 発表会の緊張と舞台裏を見られた

★「イベントへの参加」
- 塾以外の場で泊まりの会があった
- 先生が習い事以外でパーティーを開いてくれた
- 合宿はきつかったが、友だちとのわいわいが楽しかった
- 主催するクリスマスパーティーが楽しかった

★「先生との交流」
- 先生がおごってくれた
- 先生といろいろ語った
- 塾長に会い、人間的に影響を受けた
- 最後にプレゼントしてくれた手書きの色紙の言葉は、その後の人生に役立つ言葉だった
- 怖い先生にほめられた

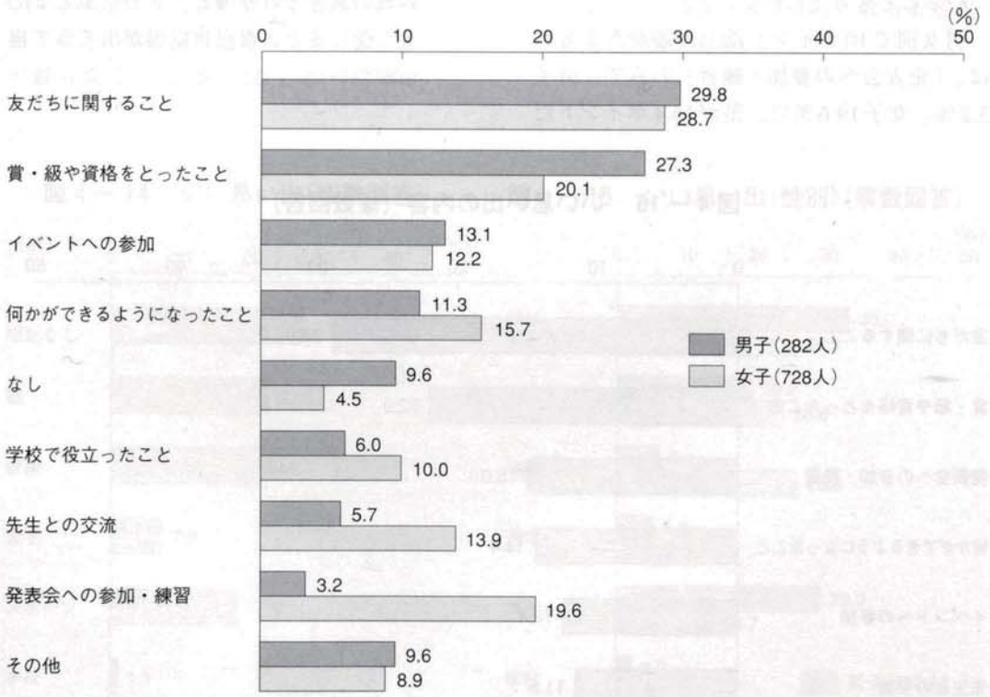



図4－17　いい思い出の内容(性別)(複数回答)